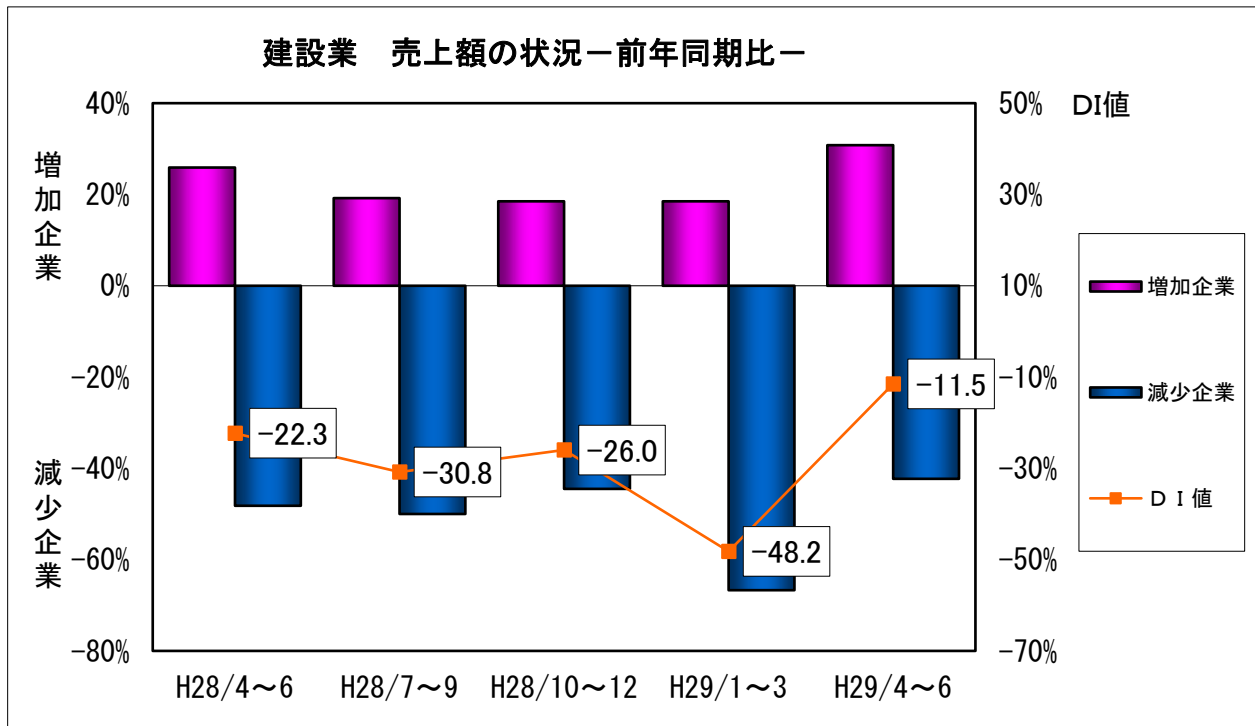


(2) 主要項目の概況（前年同期比）

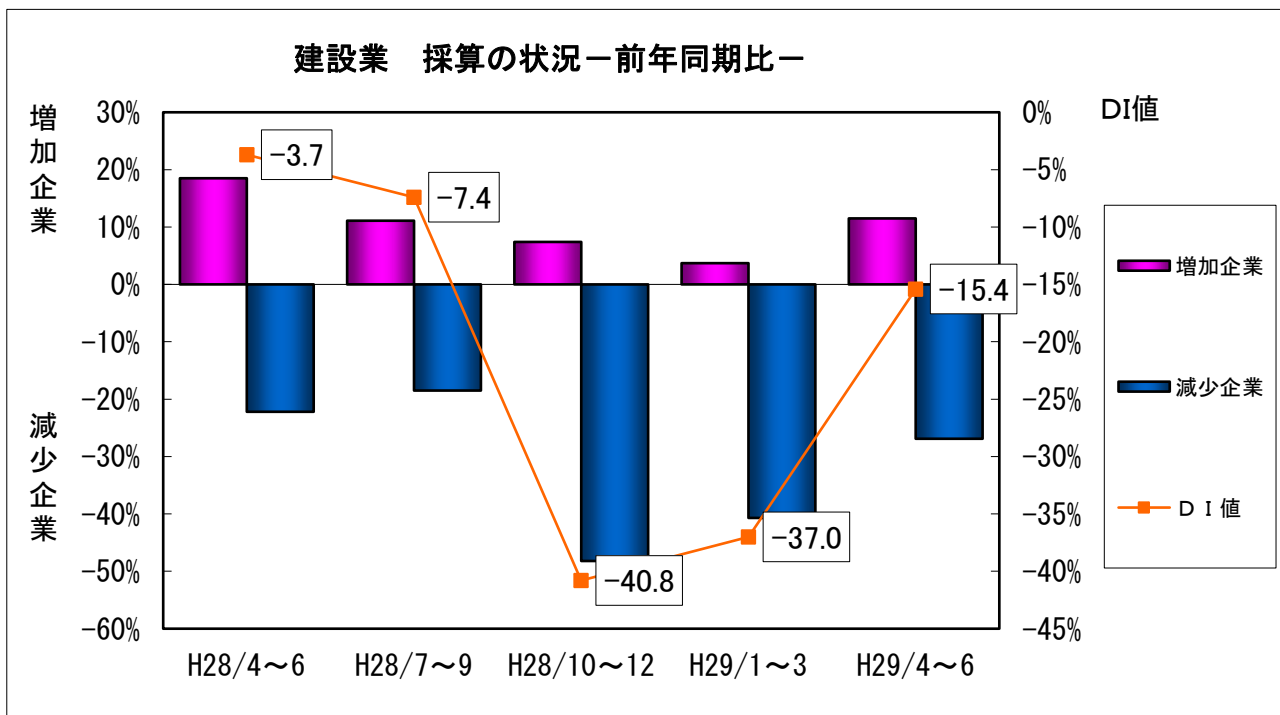
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I値は▲11.5。前期の▲48.2から36.7ポイント大幅な上昇となっている。来期見通しは▲15.4とやや下降の見込み。



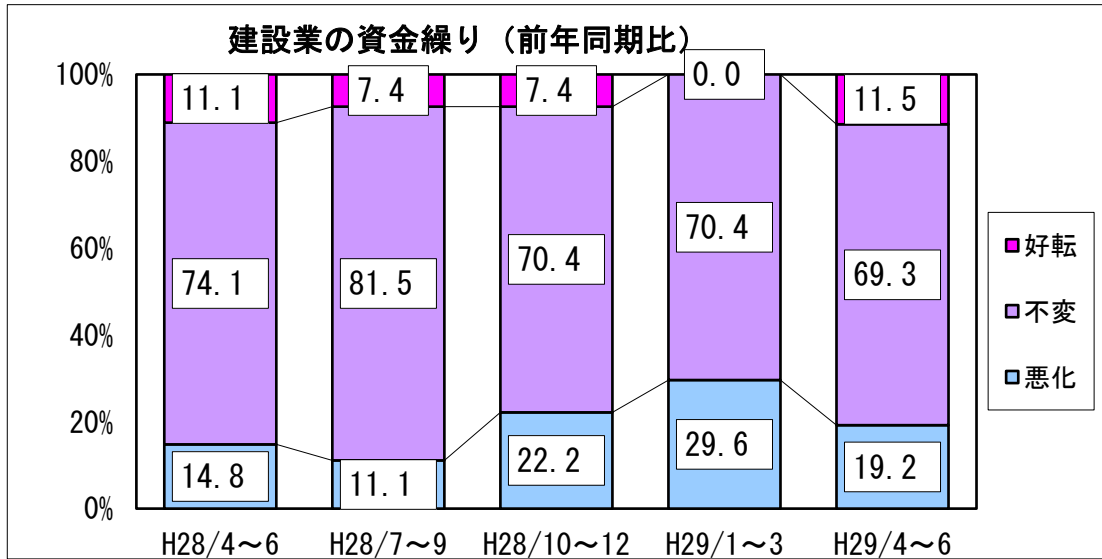
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、▲15.4。前期の▲37.0から21.6ポイントと大幅に上昇した。来期見通しは、▲19.2とやや下降する見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は▲7.7。前期の▲29.6から21.9ポイント大幅に改善した。来期見通しは、▲3.4とさらに改善される見込み。

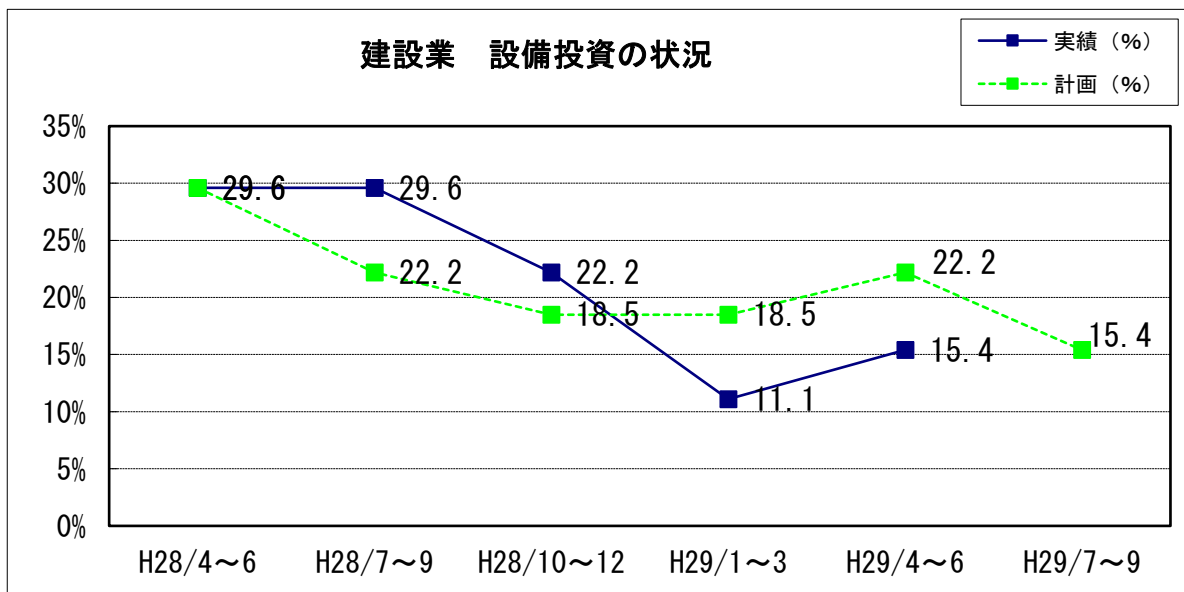


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	3	1	0	2	2	0	0	0	0	24
(%)	11.1	33.3	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9
今期実施 (実数)	4	0	0	1	3	0	2	0	0	22
(%)	15.4	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	84.6
来期計画 (実数)	4	0	0	1	1	0	2	0	0	22
(%)	15.4	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	5.0	0.0	0.0	84.6

今期設備投資を実施した企業は4社（15.4%）。前期（平成29年1~3月期）の実施企業3社（11.1%）よりわずかに増加。来期は4社（15.4%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 34.8%→今期 38.1%)
- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 26.1%→今期 33.3%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 34.8%→今期 28.6%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 21.7%→今期 23.8%)
- ・ 「大企業の進出による競争の激化」 (前期 13.0%→今期 19.0%)
- ・ 「材料価格の上昇」 (前期 13.0%→今期 19.0%)

となっている。

